リニューアル設計[含A·B·C工事]

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

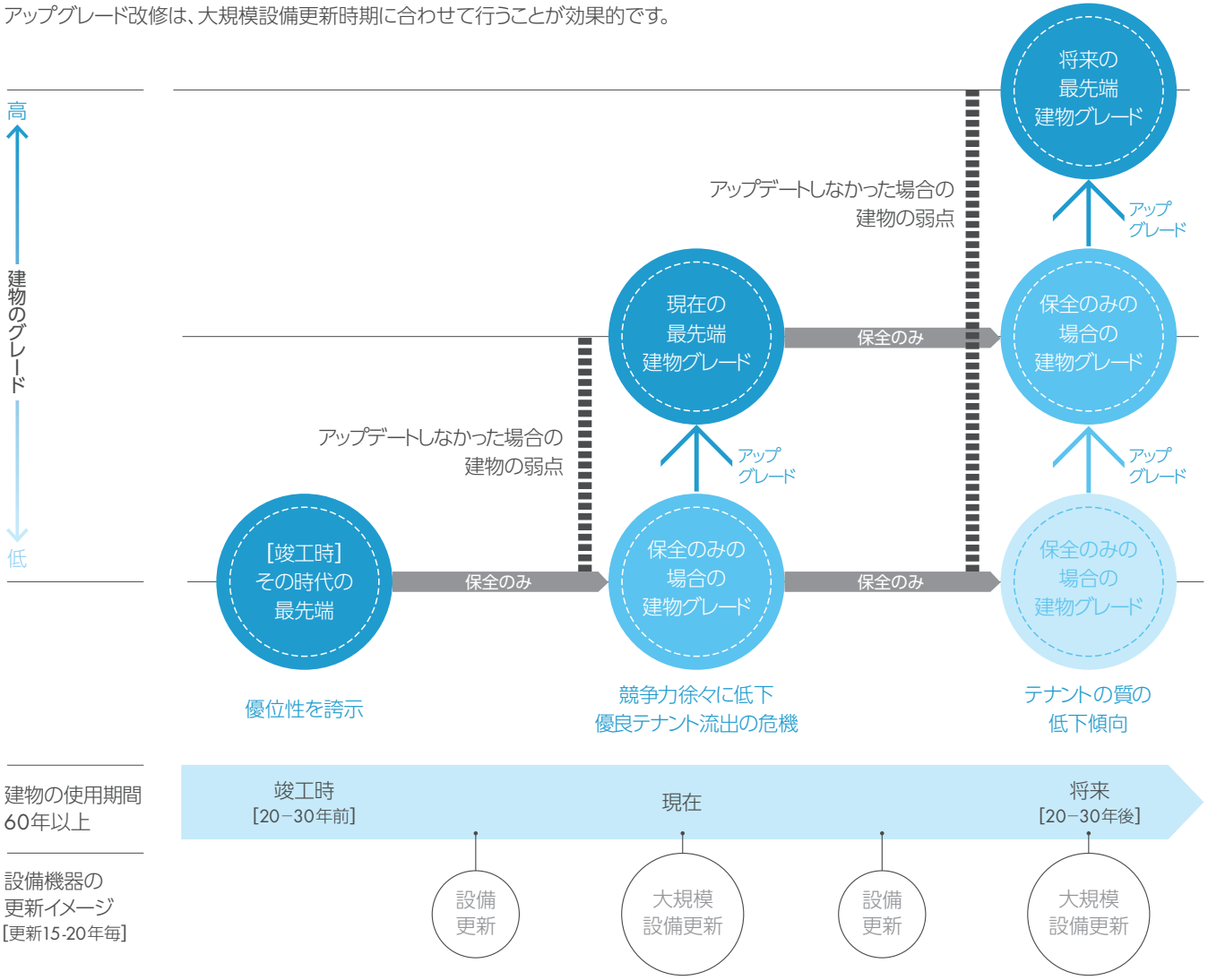
建物の資産価値を保持していくためには、定期的な修繕時期に、
建物機能維持と共に時代に沿ったアップグレードが必要です。

ビルのグレードは、ここ20年程度で目覚ましくグレードアップしてきています。竣工時は、その当時の最新水準であっても、少しづつ優位性は失われていく場合があります。耐震性·遵法性·省エネルギー·BCP対応等の社会的な要求も多様となり、建物の相対的な価値を保持していくためには、20−30年毎に新築ビル水準へアップグレードする積極的な改修が必要です。

- 建物性能の向上 | 耐震性補強·設備システムの更新·新システムの導入
- アメニティの充実 | 廊下·エレベータ·トイレ改修
- 省エネルギー | 環境負荷低減手法の採用(断熱性能向上·屋上緑化·高効率照明LED·BMS採用)
- 有害物質対策 | アスベスト·PCB除去等
- 都市景観への貢献 | ランドスケープ改修
- 建物経年劣化対応 | 防水改修·設備機器更新

現時点の最新施設水準にアップグレード

アップグレード改修は、大規模設備更新時期に合わせて行うことが効果的です。



A工事 建物オーナー(貸主)費用負担による、建物オーナー(賃主)が行う工事 | B工事 テナント(借主)費用負担による、建物オーナー(賃主)が行う工事
C工事 テナント(借主)費用負担による、テナント(借主)が行う工事